

令和03年6月（第2回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 関戸 郁文 議員

1 新型コロナウイルス感染症対策事業の効果について問う

- (1) 本市の新型コロナウイルス感染症対策事業の具体的な効果はどのようなものか。
- (2) 本年度実施する事業は昨年度実施済み事業の効果を踏まえた事業内容になっているか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策継続事業の基準について問う。

2 行政における働き方改革について問う

- (1) テレワークの状況について問う。
- (2) 政府目標に届いていない理由はなにか。
- (3) テレワーク以外の働き方改革の施策について問う。

3 岩倉市公立小学校におけるイマージョン教育について問う

- (1) 現状はどのような取組となっているか。

4 オーガニック給食についての見解を問う

- (1) オーガニック給食についての関心が高まっているが見解を問う。
- (2) 近隣市町の実施状況はどうか。
- (3) みどりの食料システム戦略を受けて岩倉市の取組について問う。

2 井上 真砂美 議員

1 岩倉市北部地区について、生活道路の危険回避・安全策を求める

- (1) 都市計画道路江南岩倉線の北への延伸について進捗状況を問う。
- (2) 北部保育園や石仏平和墓地等へのアクセスは危険が多いので改善が必要であると思うが、どのように改善されるか。
- (3) 今後、都市計画道路の整備スケジュールや北部保育園の移転などについて、地元説明会をどのように行っていくのか。
- (4) 国道155号線にかかる「明治橋」は通学路になっているが、歩道が大変狭い。歩行者用の橋が整備されると安全に通行できるが設置はできないのか。

2 （緊急事態宣言下での）市民活動や文化の継承について

- (1) 市民活動や文化協会等の活動が後継者不足で困っている。持続可能に継承する工夫は何かか。

- (2) 地域ボランティアと学校教育の場でのつながりは、今後の工夫が必要である。
- ・「昔の道具とくらし」「昔のあそび」「稲づくり体験学習」等
 - ・「戦争体験を聞く会」等
- どのような工夫が必要か。

3 様々な機能を持つ「石仏公園」の在り方を考える

- (1) 石仏公園に市民が集うコミュニティの場を作ってはいかがか。
- (2) 石仏公園内にオンラインで仕事をするスペース（コワーキングスペース）を設置してはどうか。
- (3) 石仏公園と石仏駅を結ぶ「歩道整備」や「レンタサイクル事業」を行ってはいかがか。

3 鬼頭 博和 議員

1 ヤングケアラーへの支援について

- (1) ヤングケアラーに対する本市の考え方はどのようなか。
- (2) ヤングケアラーに関する実態調査を小中学校の教職員に行うべきではないか。
- (3) ヤングケアラーの早期発見のため、教職員の研修をするべきではないか。
- (4) ヤングケアラーに対する担当窓口を庁内に設置するべきではないか。

2 災害時の避難支援強化について

- (1) 災害時の避難情報の変更について市民周知の徹底と、避難情報の内容理解の促進を。
- (2) 避難行動要支援者は、現在市内に何人いるのか。
- (3) 避難行動要支援者に対する避難支援の体制はどのようなか。
- (4) 避難行動要支援者に対して個別避難計画の早期作成を求める。

3 LINEの活用促進について

- (1) LINEを活用し、市民からの通報システムの導入を求める。

4 宮川 隆 議員

1 低出生体重児に対する支援体制は充実しているのか

- (1) 岩倉市における出生率の動向とそのうち低出生体重児の占める割合は。
- (2) 市内における出産年齢の推移は。
- (3) 低出生体重児に対する支援制度の現状は。
- (4) 支援制度の中で、県の制度、岩倉市の「子ども医療費助成制度」「未熟児養育医療費給付事業」等から抜け落ちている部分に対しての対応は検討されているのか。

2 市民と共に岩倉市の魅力を共有するために何が必要と考えるか

- (1) 岩倉市の歴史的風土・文化をどのように捉えるべきか。
- (2) 岩倉市の文化を醸成するためには何が必要か。
- (3) 第5次総合計画のスタート地点に立っている今こそ、新たな視点に立ち岩倉市の文化を市民と共有し魅力につなげるべきと感じているが、市の考えは。

5 木村 冬樹 議員

- 1 新型コロナウイルスの市内の感染状況はどうなっているのか
 - (1) 感染者は必要な医療を受けることができているのか。
 - (2) 自宅療養者の状況は把握しているのか。
 - (3) 各種変異株による感染者はいるのか。
 - (4) 市内のPCR検査の実施状況はどうか。
 - (5) 65歳以上のワクチン接種は7月末までに完了するのか。
- 2 スマートインターチェンジは本当に必要なのか
 - (1) 具体的に市や市民にどのようなメリットがあるのか。
 - (2) 実施計画では高額な整備検討業務の予算が組まれているが、どのような検討業務が行われるのか。
 - (3) 実現するには市の財政負担はどれくらいになるのか。
- 3 コロナ禍において、市内の外国人住民の暮らし、健康、人権をどのように守っていくのか
 - (1) 外国人相談窓口への相談はどれくらいあり、どう対応しているのか。
 - (2) 住民登録されていない市内に住む外国人の状況は把握しているのか。
 - (3) 外国人住民の多い自治体として、現行の入管制度の改善を国に求めるべきではないか。
- 4 デジタル関連法成立により自治体にどのような影響があるのか
 - (1) 個人情報保護法制の一元化・オープンデータ化の影響はどうか。
 - (2) 国・自治体の情報システムの共同化・集約の影響はどうか。
 - (3) マイナンバー制度の利用拡大の影響はどうか。
 - (4) 強力な権限を持つデジタル庁の設置の影響はどうか。

6 大野 慎治 議員

- 1 中学校制服の自由選択制の導入について問う
 - (1) 制服の自由選択制についての見解は。
 - (2) ニーズ調査が必要ではないか。
 - (3) 今後の制服の自由選択制の導入に向けての検討委員会の設置の考えはあるのか。

- 2 保育園の紙おむつの持ち帰り・処分について問う
 - (1) 現状はどのようになっているのか。
 - (2) 保育園において、使用済み紙おむつを処分するべきではないか。
- 3 図書館の学習室の利用について問う
 - (1) 学習室を閉鎖している現状について問う。
 - (2) 学習室の利用を再開するべきではないか。
- 4 緊急通報システムの利用状況と対象者の拡大について問う
 - (1) 利用状況はどのようになっているのか。
 - (2) 対象者を拡大するべきではないか。

7 堀 巖 議員

- 1 コロナ禍における子ども食堂の存在意義について問う
 - (1) 日本全体、愛知県及び岩倉市の子ども食堂の開設状況はどのようか。
 - (2) 近隣のフードバンクやフードドライブの取組はどのようか。
 - (3) 緊急小口資金の特例貸付に対する相談件数や実際の貸付件数の推移はどのようか。
 - (4) コロナ禍において、子どもの相対的貧困率はどのように推移しているか。
 - (5) 子ども食堂の取組に対し、どのように評価しているのか。
 - (6) 岩倉市として、子ども食堂の普及やフードドライブに対して支援することはできないのか。
- 2 コロナワクチン接種に係るコールセンター業務の状況について問う
 - (1) 委託先である近畿日本ツーリスト中部のコールセンターに電話をしてもつながらないため、苦情が市役所（保健センター）に寄せられていると聞いている。どのような状況なのか。
 - (2) 受付システムが優れているという理由で委託先を選定したが、そのシステムの運用状況はどのようか。
 - (3) 高齢者の予約を市民が手助けするということは大変素晴らしいことではあるが、委託との関係で言えば改善する余地が大きいのではないか。
- 3 川井野寄地区企業誘致の区域から見つかった産業廃棄物の処理について問う
 - (1) 他の60箇所の土地については、事前に土地の調査を行っているのに、産業廃棄物が見つかった2筆の土地については、売買契約後に調査を行ってほしいと地権者に言われ、応諾したのはなぜか。
 - (2) 産業廃棄物が見つかった場合は、その費用の全額を地権者が負担するという誓約書が交わされているにもかかわらず、最終的に土地の売買代金の1割を支払うことを愛知県と岩倉市と地権者の間で合意したのは、5割程度を負担すべきだと指摘された岩倉市の顧問弁護士の意見からしてもおかしいのではないか。

8 谷平 敬子 議員

- 1 子宮頸がんワクチンの情報提供について
 - (1) 本市の子宮頸がんワクチン接種の推移と接種による副反応の報告事例はどのようなか。
 - (2) 昨年の厚生労働省の通達を受けての本市の取組はどのようなか。
 - (3) 子宮頸がんワクチンの情報をもらえなかった方への救済についてどのように考えているのか。
- 2 保育園における使用済み紙おむつの処理について
 - (1) 使用済み紙おむつの処分の現状と課題はどのようなか。
 - (2) 使用済み紙おむつを行政で処分できないか。
- 3 紙おむつ再生利用について
 - (1) 本市の紙おむつ再生利用について見解を求める。

9 水野 忠三 議員

- 1 ごみ袋(岩倉市指定袋)について問う
 - (1) 本市のごみ袋やごみの出し方の現状はどうか。
 - (2) 近隣市町の現状はどうか。
 - (3) 従来より大型のごみ袋に対する市民ニーズについては、どのように認識しているか。
 - (4) 「燃やすごみ用」等で、例えば、45リットルなどの大型のごみ袋を新たに導入できないか。
 - (5) 将来的な課題として、(小牧市などの)他の自治体とのごみ袋の共通化について見解を問う。
- 2 今後の学校給食におけるゲノム編集食品の使用の是非を問う
 - (1) 現時点で、ゲノム編集食品についてはどのように認識しているか。(「遺伝子組み換え食品」との異同も含めて。)
 - (2) 学校給食の食材として、将来的にゲノム編集食品を用いることの是非についてはどのように考えるか。
 - (3) ゲノム編集食品の「表示義務」(の要否)に関する国や愛知県の方針等についてはどのように認識しているか。
 - (4) 仮に、「ゲノム編集食品である」旨の表示がなされていない場合、知らず知らずに(意図せずに)学校給食の食材としてゲノム編集食品を用いてしまう可能性はないか。また、保護者の理解は得られるか。
 - (5) 「食の安全」と今後の学校給食の食材の在り方を問う。

3 本市が訴訟当事者になる場合について問う

- (1) 過去に本市が裁判の原告や被告になった事例については、どのようなものがあるか。
- (2) 紛争の法的解決として、事案によっては毅然とした対応も必要と考えるが、本市の基本的な方針はどうか。
- (3) 本市が訴訟当事者になる事案については市民の関心も高いと思うが、見解を問う。
- (4) 市民の関心が高い重要な事案については、事案の概要、経緯や本市の見解(主張)等を市民に広くお知らせすべきと考えるが、どうか。

10 片岡 健一郎 議員

1 総合評価落札方式について問う

- (1) 愛知県内での総合評価落札方式の実施状況はどうか。
- (2) 本市における総合評価落札方式における評価項目はどのような経緯で現状の評価項目になっているのか。
- (3) 一宮建設事務所管内の自治体と比較し岩倉市の評価項目はどうか。

2 マイナンバーカードについて問う

- (1) 本市における最新のマイナンバーカード発行状況はどうか。
- (2) 普及率の向上に向けた更なる取組はどうか。
- (3) 発行を促進するには、市独自の施策としてマイナンバーカードを取得している市民の皆様の利便性を高めることも必要と考えるがどうか。
- (4) 今後マイナンバーカードを利用した岩倉市の行政事務の効率化はどのような事が考えられるか。

3 市民のこころの健康について問う

- (1) 本市において産後における母親へのケアはどのようか。
- (2) 産後うつ近年の発症状況の傾向はどうか。
- (3) パパママセミナーの内容及び参加状況はどうか。
- (4) 産後うつ予防の観点からパパママセミナーにおいて産後うつへの理解を深める内容を盛り込んでどうか。

11 榎谷 規子 議員

1 高齢難聴者に補聴器購入助成を

- (1) マスク生活の中で聴こえの保障がますます求められていることをどう見ているか。
- (2) 研究・検討はどう進んでいるのか。

2 生活保護行政の「改正」を受けて

- (1) コロナ禍の中で、保護世帯は増えているか。
- (2) 改正された「扶養照会」について職員の共通認識になっているか。
- (3) これまでの「扶養照会」の実態はどうだったか。

3 コロナ禍の中でもすべての子どもたちが豊かに学べる学校教育を

- (1) ギガスクール構想ータブレット配備で学校教育はどうなっていくか。
 - ① 「学び合い」「育ち合う」という大切にされてきた観点が弱くなるのではないか。
 - ② 教育の目的である「人格の完成」が、企業が求める「人材の育成」にならないか。
 - ③ 蓄積された個人情報はどう扱われるのか。情報漏えいは起きないのか。
 - ④ 子どもへの心と体への影響についての心配はどうか。
 - ⑤ 家庭学習での利用がすすめられると、家庭での環境の差をどうしていくのか。
 - ⑥ 教室に保管庫設置で狭くなる教室の状況はどうか。
 - ⑦ 取扱いや更新など教員の多忙化にならないか。支援員の配置はどうか。
 - ⑧ 国の財政措置が続くかが不明。自治体任せの可能性をどう見るか。保険加入しているか。家庭に持ち帰った場合の破損等個人負担にならないか。
- (2) 安心・安全な学校生活のためにトイレ等清掃の委託の継続を。

12 黒川 武 議員

1 住宅等の耐震化の促進策について

- (1) 耐震等関連事業に係る補助金の代理受領制度の導入について問う。

2 教育格差を是正する施策の家庭への支援「奨学金制度」について

- (1) 奨学金給付事業について問う。
 - ① 評価及び課題について問う。
 - ② 奨学金給付事業の拡充について問う。
- (2) 地域の金融機関と連携し「奨学金制度」を促進してはどうか。
 - ① 教育格差を生む要因は何かについて問う。
 - ② 相談体制について問う。
 - ③ 地域の金融機関と連携し「こいのぼり奨学金制度」の創設及び促進を。
 - ④ 教育格差是正について、教育長の所見を問う。

13 梅村 均 議員

1 18歳成年に向けた市事業における検討は十分か

- (1) 「新成人のつどい」の開催方針はどのようか。

- (2) 各小学校で行われている「1/2成人式」は、今後変更の考えはあるか。
- 2 五条川健幸ロードの充実で関係人口の創出を
- (1) これまでの整備内容の確認。
 - (2) 充実に向けて、今後の計画はどのようなか。
 - (3) クイズラリーを開催してはどうか。または、日常的にそうした楽しめる整備をしてはどうか。さらに市制50周年の周知につなげて良いのではないか。
 - (4) 0次予防の発想を。
- 3 小学校区単位でのコミュニティ組織はなぜ必要か、設立に向けてどの段階にあるのか
- (1) 五条川小校区にあるコミュニティ組織の創設理由や現在の構成員、実施事業は。
 - (2) 五条川小校区のコミュニティ活動をどう評価しているか。
 - (3) 小学校区単位で実施した方がよいと思う具体的な事業等はあるか。（課題の洗い出しはできているか。）
 - (4) 小学校区ごとに行われている防災訓練開催までの準備経過や主導実態はどのようなになっているか。
 - (5) 今後の小学校区単位でのコミュニティづくりの展望（計画）は。
 - (6) 先進事例もある地域づくり協議会を設立してはどうか。
 - (7) 地域担当職員制度（半田市等）を導入してはどうか。
- 4 中小企業・小規模企業振興の取組は十分か
- (1) 条例制定後どのような取組をしているか。
 - (2) 健康経営優良法人2022（経済産業省）の周知啓発を。